

## 編集後記

『〈教育と社会〉研究』第23号は、二つの特集をお届けすることとなりました。編集委員会では当初二つの案を一本化する方向で準備をしておりましたが、議論を進める中で各案甲乙つけ難く、かつ本誌において発信をしていく意義が双方共にあるだろうという結論に至った次第です。「いじめ」と「朝鮮学校」は、現在共に時論が高まっているテーマであることに異論はないでしょう。各特集の序文において申し上げた通り、本誌上での議論が会員のみなさまや本号を手にとって下さった方々の思索の糧となれば、編集の責を担った身としてこの上ない喜びです。当然のことながら、時流に乗ったテーマを設定することは、執筆・編集する側の企図していない反応に晒される可能性をも伴うものでしょう。それが議論の豊かさ、契機となることに希望を見出だした今回の特集企画ですが、委員会の力量不足ゆえにみなさまにご不満を抱かせることもあるかと存じます。是非とも忌憚のないご批判、ご意見をお寄せ下さい。また、委員会による依頼から刊行まで大変厳しいスケジュールの中で、数々のご助力を賜りました執筆者のみなさまに、この場を借りてあらためて深く御礼を申し上げます。

『〈教育と社会〉研究』は第24号から規定字数をはじめとして投稿要領を改定いたします。また、すでにご案内を差し上げている通り、第23号の刊行にあわせて第22号以前に掲載された論文をHERMES-IRにて随時公開して参ります。研究会や研究という営みそのものがおかれる状況に思慮をめぐらしつつ、今後とも本誌を会員のみなさまの研究活動進展の場にすべく尽力いたしますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

(井上直子、太田昌志、呉永鎬、篠原貴子、濱沖敢太郎)

### 『〈教育と社会〉研究』第23号編集委員会

編集長：濱沖敢太郎

編集委員：井上直子、太田昌志、呉永鎬、篠原貴子、木村元、山田哲也

### 『〈教育と社会〉研究』第24号原稿募集

執筆希望者は、前頁の投稿要領にしたがってご応募下さい。

投稿希望〆切：2014年1月末日

原稿〆切：2014年3月末日

募集原稿：論文／研究ノート／文献・資料紹介／書評

---

### 〈教育と社会〉研究 第23号

2013年8月28日 発行

編集発行 一橋大学〈教育と社会〉研究会

URL: [http://mail.soc.hit-u.ac.jp/~education/study\\_group.html](http://mail.soc.hit-u.ac.jp/~education/study_group.html)

E-mail: [edu.and.soc@gmail.com](mailto:edu.and.soc@gmail.com)

印刷 社会福祉法人 東京コロニー